

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク



薩摩保護区保護司会 広報紙

2025(令和7年)

第11号
8月

保護司会だより

編集・発行：薩摩保護区保護司会 薩摩川内市・さつま町 ホームページ <https://www.satsuma-hogo.jp/> Q 薩摩保護区保護司会

薩摩保護区更生保護



薩摩保護区保護司会
会長 田中 実
たなか のみち

薩摩保護区「保護司会だより」は今回が11回目の発行になります。

これまで保護司会の役員、活動地域、構成・関係団体等を紹介し、さらに「社会を明るくする運動」では薩摩川内市・さつま町との連携もお伝えしてきました。

薩摩保護区保護司会が関与する保護観察事件数はここしばらくは一桁で推移していて、安心・安全な地域と言えて大変有難いことと思っています。

さて、以前からお伝えしていました「再犯防止推進計画」は平成28年12月に「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立し、令和5年3月に「第二次再犯防止推進計画」が閣議決定され各県とそれぞれの自治体が活動計画を作成して実行していくようになっていました。私どもの保護区は薩摩川内市・さつま町です。両自治体においても「再犯防止推進計画」として令和6年度末までに決定をして頂き、本年4月から実行されています。罪を犯してしまった人たちが再びそのようなことにならないような活動を進めてまいります。

また、薩摩川内市中央公民館の一部を保護司会がお借りして「薩摩地区更生保護サポートセンター」がありますが、本年9月からさつま町にもサポートセンターを設置できるようにしました。この2つを拠点として私どもの活動をさらに充実させていきたいと思っています。

犯罪や非行のない安全・安心な地域共生社会の実現に向けて



鹿児島保護観察所
所長 藤本 健一
ふじもと けんいち

薩摩川内市、さつま町の地域にお住いの皆様におかれましては、平素から更生保護の諸活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、犯罪や非行があった方の立ち直りと再犯防止の取組は、国、地方公共団体、民間団体等が連携して進めており、現在は再犯の防止等の推進に関する法律に基づく第二次再犯防止推進計画による施策を展開しています。

このような中、令和7年6月から、刑法の改正に伴う拘禁刑の施行と刑の執行猶予制度の拡充の運用が開始されました。再犯防止と改善更生に重点を置いた改正であり、刑事施設では、入所後の早い段階から犯罪があった方の支援ニーズを把握し、保護観察所では、刑事施設と連携して出所後の住居、就労先、福祉サービスの確保など再犯に至らない社会復帰支援の充実を図ってまいります。

近年、情報通信技術の進展などにより、様々なことが便利になった一方で、人と人とのつながりが希薄化し、望まない孤独や、社会的孤立などの問題が生じています。この「生きづらさ」は、誰もが抱えうることで、ときに犯罪や、非行という形となって社会に影響を落とすこともあります。そうならないためにも地域に住まわれる人々が、お互いのことを理解し、共に支え合う包摂的な地域共生社会の実現が重要となっています。

引き続き、新たな加害者も被害者も生まない安全・安心な社会づくりに努めますので、御理解と御協力をお願いいたします。

更生保護ボランティアとしての直接的な支援

保護司としての支援

保護司は、刑務所や少年院から出て「保護観察」を受けることになった人などを指導し、相談にのったり、様々な支援を行う民間のボランティアです。

協力雇用主や更生保護施設の職員として支援

地域社会に復帰

住居が必要

地域との絆が必要

仕事が必要

地域の人たちの理解と協力

“社会を明るくする運動”に参加する。

刑務所や少年院、職業訓練などで作ったものを購入する。

更生保護ボランティアを支援する。

罪を犯した人の立ち直りを見守り、彼らの存在を受け入れる

更生保護女性会員やBBS会員として支援

写真で見る主な諸活動

5月 薩摩保護区保護司会総会／第1期定例研修会

新年度の活動等について総会を行い、その後、定例研修会を実施しています。令和7年度は、「報告書等について」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の松下課長と伊波観察官から講話があり、理解を深めました。

1年間に定例研修会を3回、各支部での処遇会議等を実施しています。



7月 「社会を明るくする運動」薩摩川内市長及びさつま町長への総理大臣メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」は、法務省が主唱し毎年7月を強調月間として全国で展開されています。

再犯防止に向けた取組や本運動に対して理解を求める内閣総理大臣メッセージの伝達式を薩摩川内市役所及びさつま町役場で行い、田中市長と上野町長に伝達いたしました。



9月 薩摩川内地区学校長・薩摩川内警察署・薩摩川内市との合同研修会・情報交換会

学校・警察・行政等と連携し、犯罪や非行のない明るい社会づくりに努めています。

田中会長、佐藤保護観察所長、藤田教育長からの挨拶、そして川薩保健所、薩摩川内警察署、川内薬剤師会、市保健福祉課様より講演をいただきました。

なお、11月にさつま支部も合同研修会を開催しました。



11月 保護司候補者検討協議会



保護司活動に対する地域の理解を深め、幅広い人材から保護司候補者を確保することに努めています。

11月 視察研修



更生保護活動に活かすために、関係更正保護施設等の視察研修を実施しています。(写真は鹿児島地方裁判所)

11月 秋の薬物乱用防止キャンペーン



非行・犯罪の未然防止活動の一環として、薬物乱用防止キャンペーン等を実施しています。(写真はさつま町産業祭にて)

2月 各支部処遇会議

保護司相互の情報交換の場として各支部で処遇会議を開催し、研修・情報交換会及び懇親会等を実施しています。(写真は東支部処遇会議の様子です)



3月 第3期定例研修会

昨年度は、保護観察の「事例研究(再犯・再非行事件)」という研修テーマで、鹿児島保護観察所の太塚観察官から3つの事例について講話があり、その後、保護司どうしのグループ討議をとおして理解を深めました。



※この他、対象者を受け入れるための「生活環境調整」や「保護観察面接」活動等を実施しています。

薩摩保護区保護司関係の受章者・退任・新任者

叙勲受章者

瑞宝双光章

伊東 正 氏 (元副会長)
(薩摩川内市中郷町、
令和6年11月14日付)

瑞宝双光章

福山 義幸 氏 (事務局長)
(薩摩川内市大王町、
令和7年5月20日付)



退任者

水流 信雄 氏 (薩摩川内市入来町、令和6年9月30日付)
徳留 昇 氏 (さつま町二渡、令和6年9月30日付)
福山 道德 氏 (さつま町求名、令和6年9月30日付)
宮田 修一 氏 (薩摩川内市東大小路町、令和7年1月31日付)
石原 稔雄 氏 (薩摩川内市祁答院町、令和7年5月30日付)
下江 伊八郎 氏 (薩摩川内市下甕町、令和7年6月20日付)

新任者

和田 真明 氏 (薩摩川内市横馬場町、令和6年10月1日付)
川崎 康弘 氏 (薩摩川内市永利町、令和6年10月1日付)
福山 小百合 氏 (薩摩川内市隈之城町、令和6年10月1日付)
坊野 誠一郎 氏 (薩摩川内市平佐町、令和6年10月1日付)
執印 敬三 氏 (薩摩川内市大小路町、令和7年2月3日付)
中内 功一 氏 (薩摩川内市西向田町、令和7年2月3日付)
山本 一道 氏 (さつま町求名、令和7年2月1日付)

更生保護を支える力

現在、薩摩保護区には、更生保護を支える力として、主に更生保護女性会、BBS会、及び協力雇用主会があります。



薩摩川内市
更生保護女性会
会長 家村 純子

「薩摩川内市更生保護女性会」として

令和7年2月14日付で、川内更生保護女性会から薩摩川内市更生保護女性会へ団体名を変更させて頂き、薩摩川内市内全域に更生保護女性会活動を広めていけるようになりました。

以前より行っていた「つなし(10歳)のお祝い」事業も、市内全小学校の4年生にプレゼントを渡すことが出来るようになります。

また、休会していた平佐東地区が、今年度より地区会として活動を再開し新しい理事も決まりました。私たちの活動を見聞された方からも「私も一緒に活動をしたい」というありがたいお声も頂き、早速甕島の方から入会の申し込みをいただきました。まだ地区会のない地域の方からも、「会員になるよ」とお返事を頂いております。

少しずつではありますが、その輪が広がっていけるように今年一年頑張っていきたいと思っています。(写真は協力雇用主の下窪製茶工場での研修)



さつま町
更生保護女性会
会長 横山 より子

会員同士のつながりを大切に

さつま町更生保護女性会の活動は、やっと昨年度ぐらいからコロナ禍前に戻せたような気がしています。

まずは、青少年健全育成の活動として、年3回毎学期始まりの3日間、中学校校門前で朝のあいさつ運動を行い、夏休み前には全校生徒に薬物乱用防止のパンフレットとティッシュ等を届けています。

小さな町で実際更生保護の活動はなかなかできていないのですが、会員研修等は続けています。まずは会員に知識があること、会員同士のつながりが深いことが、更生保護だけではなく、町に災害などがあった時にも、ボランティア団体としてすぐに役立つことがあるのではないかと考えています。



薩摩保護区
保護司会
研修部長
斉藤 治城



保護司会ホームページ開設のお知らせ及び 研修視察の報告について

研修部会では会員の皆様に数多くの研修を通して各自が保護観察対象者を受け持った時に役立てて頂ける様な研修を実施しています。昨年は、「依存症治療について」専門病院にお伺いし、担当の先生より依存症治療に対しての知識や現状を知ることができました。その後場所を移して、鹿児島地方裁判所内の見学、裁判官との意見交換会をするなど一日を通して有意義な研修視察を実施しました。今年度は九州地区内の刑務所見学を検討しているところです。

また、お知らせになりますが、薩摩保護区保護司会のホームページを開設する運びとなりました。これから色々な活動を報告させていただきますので、多くの方に閲覧して頂ければと思います。以上報告とお知らせになります。



薩摩保護区
保護司会
総務部長
田島 洋輝



総務部の活動紹介：

「保護司だよりの発行とホームページ開設に向けて」

薩摩保護区保護司会には4つの部会があり、そのひとつが総務部です。総務部の事業内容として12の内容が規定されていますが、そのほとんどの業務はサポセン(薩摩保護区保護司サポートセンター)事務局の方でしていただいていますので、私どもの主な活動は、「保護司だより」(本誌)の発行・配布に向けて、総務部会を年数回開催してよりよい紙面作りに励んでいるところです。薩摩川内市とさつま町の全戸(約4万戸)に毎年8月初旬頃に配布し保護司会の活動を紹介して広報・啓発に努めています。

また、今年は本保護司会のホームページ開設に向けて取り組んでおり、タイムリーな情報等お届けできるように一層の広報活動に取り組んでいきたいと思っています。

令和7年度薩摩保護区保護司会役員名簿

役職名	氏 名	支部名
会 長	田 中 実	南
副 会 長	永 山 伸 一	東
副 会 長	柏 木 幸 平	さつま
事務局長 サポートセンター長	福 山 義 幸	北
会 計	加治屋 卓 朗	南
南支部長	尾 曲 祐 一	南
北支部長	大 藺 喜一郎	北

役職名	氏 名	支部名
東支部長	徳 永 幸 夫	東
さつま支部長	木 下 賢 治	さつま
西支部長	蔵 元 保 海	西
総務部長	田 島 洋 輝	東
研修部長 駐在保護司	斉 藤 治 城	北
犯罪予防部長	野 平 誠	南
協力組織部長	永 留 博 文	南

役職名	氏 名	支部名
社会貢献活動部長	村 上 眞理子	東
理 事	東 哲 雄	さつま
監 事	小田原 勇次郎	北
監 事	新 改 幸 一	さつま
事務局次長	松 下 昭 子	北

令和7年度薩摩保護区保護司会学校連絡保護司名簿

支部名	氏 名	学校連絡保護司
南	尾 曲 祐 一	隈之城小、川内南中
南	鹿子木 努	平佐西小
南	宮 田 羊 子	永利小
南	山 元 貴 代	平佐西小、川内中央中
南	加治屋 卓 朗	平佐西小、平佐東小
南	永 留 博 文	川内南中
南	野 平 誠	川内中央中
南	岩 元 ひとみ	隈之城小
南	西 一 徳	永利小
南	有 馬 貞 喜	平佐西小
南	松 元 邦 明	川内小、川内中央中
南	中 内 カ ネ	川内小
南	山ノ内 文 夫	峰山小
南	久木野 勲	永利小
南	田 中 実	れいめい中
南	中 川 一 朗	隈之城小、れいめい中
南	軍 神 利喜男	川内中央中
南	内 田 一 樹	川内小
南	大六野 直 実	川内南中
南	桑 畑 明 斎	川内南中
南	上江川 知 美	川内小
南	堂 園 力 也	川内小
南	内 山 小夜子	峰山小
南	川 崎 康 弘	永利小
南	福 山 小百合	隈之城小
南	坊 野 誠一郎	川内南中
南	和 田 真 明	平佐西小
南	中 内 功 一	川内小

支部名	氏 名	学校連絡保護司
北	中 間 則 行	水引小、水引中
北	山 口 就太郎	可愛小
北	土器手 正 之	亀山小
北	福 永 幸 央	育英小
北	坂 元 安 夫	高来小、城上小、平成中
北	執 印 敬 三	川内北中

東	徳 永 幸 夫	樋脇小、樋脇中
東	大 田 純 一	樋脇小、樋脇中、市比野小
東	村 上 眞理子	市比野小、樋脇中
東	笹 森 純 一	市比野小
東	田 島 洋 輝	祁答院小、祁答院中
東	平 林 輝 美	祁答院小、祁答院中
東	羽 島 泰 建	祁答院小、祁答院中
東	増 田 成 貴	祁答院小、祁答院中
東	永 山 伸 一	東郷学園
東	山 下 浩 一	東郷学園
東	田 代 幸一郎	東郷学園
東	内 野 久 子	東郷学園
東	吉 留 政 和	東郷学園
東	村 岡 文 正	入来小、入来中
東	田 島 功 輔	副田小、入来中

西	蔵 元 保 海	中津小
西	小 村 昌 治	鹿島小
西	野 島 秋 彦	里小、里中
西	中 野 力 丸	長浜小、海星中
西	野 島 孝 信	里小、里中
西	井 芹 顕 真	手打小

北	大 藺 喜一郎	育英小、八幡小
北	伊 東 正	育英小、川内北中
北	田 中 晴 樹	可愛小
北	福 山 義 幸	亀山小、川内北中
北	三 浦 美 幸	育英小
北	小田原 勇次郎	可愛小、川内北中
北	斉 藤 治 城	八幡小
北	松 下 昭 子	高来小、城上小、平成中
北	尻無濱 一 喜	育英小
北	亀 田 信 暁	水引小
北	大 村 恵美子	水引小、水引中
北	手 打 哲 也	水引小
北	加 藤 信 行	亀山小
北	下 園 絹 子	水引小、水引中
北	檜 木 敏 文	水引小、水引中

さつま	木 下 賢 治	薩摩小
さつま	新 改 幸 一	柏原小
さつま	久 保 敬 作	佐志小
さつま	野 崎 華 子	宮之城小
さつま	濱 崎 典 子	盈進小
さつま	柏 木 幸 平	宮之城小
さつま	東 哲 雄	鶴田小
さつま	山 本 一 道	薩摩小
さつま	手 塚 良 平	鶴田小
さつま	堂ノ脇 一 則	宮之城小
さつま	小 森 良 峰	薩摩小
さつま	片 山 晋 介	鶴田小
さつま	高 橋 誠 芳	薩摩小
さつま	春 山 智	盈進小
さつま	古 田 昌 也	柏原小

薩摩地区 更生保護サポートセンター（サポセン）は次の様な事に利用できます。

1. 地域住民からの犯罪・非行に関する相談の窓口
2. 地域における関係機関・団体との連絡・協議
3. その他更生保護に関する活動（ご相談下さい）

所 在 地 薩摩川内市大小路町14番5号（薩摩川内市中央公民館内）
 名 称 薩摩地区更生保護サポートセンター（薩摩保護区保護司会事務局）
 電 話 0996-41-6196 FAX 0996-41-6196



（公式HP）